

Otaka Sizzle presents
True Life オロロン

北海道天売島に生息する
絶滅危惧種のオロロン鳥の物語

Voice
Sax・Keyboard
笛
文楽人形
写真・映像

高瀬麻里子
住友紀人
阿部一成
勘緑+木偶舎
寺沢孝毅

2024年1月7日(日)

甲府桜座 甲府市中央1-1-7

15開時開演 14:30開場

入場料 前売り 3000円(ドリンク別500円)
当日 3500円(ドリンク別500円)

問合せ 木偶舎 090-6019-4012
桜座 055-233-2031 090-2738-0247(山本)
<http://www.sakuraza.jp>



高瀬“makoring”麻里子

「まこりんの歌で聴くと、詩が活字で読むよりもずっと深く心に届くのに驚く。一詩人 谷川俊太郎」

谷川賢作(p)率いる現代詩をうたうバンド”DiVa”のボーカル。特に日本語のうたの表現に定評がある。その他、ハモリ女子3歌楽坊”トランスパランス”、伴奏者なしの”まこソロ”など、ホール、ライブハウスから保育園、介護施設まで、様々なライブスタイルで活動中。NHK朝ドラ「つばさ」「あまちゃん」「おちよらん」、角川映画「沈まぬ太陽」などの劇伴や北海道 野口観光CM”ののかぜ〜”、又、キッズソングの録音も多数。こまつ座 舞台「頭痛肩凝り樋口一葉」の歌唱指導、昭和音楽大学非常勤講師としての一面もある。



阿部一成

篠笛(しのぶえ)演奏家。

太鼓芸能集団「鼓童」で14年間活動した後、2010年に独立。故郷の愛媛県新居浜市を拠点に、鎮魂・浄化・解放の願いを篠笛に吹き込む。

ソロ公演や奉納演奏の他、ダンス・人形浄瑠璃・現代サーカスなど様々なアーティストと共演し、世界32ヶ国で演奏。オリジナルアルバム「龍の声」「遙かなる風」を発表。

寺沢 孝毅

自然写真家。北海道士別市生まれ。

22歳のとき、旭川より移住した天売島に住み続ける。絶滅危惧種のウミガラスやケイマフリの調査・保護活動を続けながら、天売島を「小さな地球」と見立てて人と自然環境の営みを撮り続ける。また、極地から熱帯まで、海洋環境や海鳥を中心に取材し、地球の素顔を伝える活動を続ける。画像と音を使った講演活動「Photo & Sound Live」を全国展開中。

『BIRD ISLAND TEURI』『EARTH SONG 地球の絶景と守りたい生命』など著書多数。NHK「ワイルドライフ」「ダーウィンが来た！」など自然番組の撮影にも取り組む <https://terra-images.jp>

木偶舎十勸緑

浄瑠璃人形遣い

元(財)文楽協会技芸員、人形座「木偶舎」主宰。

1979年二世桐竹勸十郎(人間国宝・故人)に入門。

人形浄瑠璃の普及・発展と文楽人形の新しい可能性を求めて、2012年1月33年間在籍した文楽座を辞し、フリーの人形遣いとなる。主宰する「木偶舎」では、各地で自然との融合や他ジャンルの音楽・演劇との接点を求めた文楽人形の可能性を追求し、劇場の枠を越えた独自の野外劇場を企画・演出している。



住友紀人

EWI(ウインドシンセサイザー)の第一人者。数々の著名なミュージシャン達とのセッションを経て参加したイタリアンプログレッシブロック界の巨匠、ジャンニ・ノセンチのソロアルバム「SOFT SONGS」は米ビルボード誌に掲載され同アルバムで競演した坂本龍一氏と共に高い評価を受ける。作曲家としては映画「ホワイトアウト」で脚光を浴び、同映画で日本アカデミー優秀音楽賞を受賞。テレビドラマにおいても「やまとなでしこ」、テレビ朝日開局45周年記念ドラマ「弟」、「熟年離婚」、「アンフェア」、NHK朝の連続テレビ小説「つばさ」、「沈まぬ太陽」などの音楽を相次いで担当し、同作品では2度目の日本アカデミー優秀音楽賞と最優秀作品賞を受賞。2009年アレンジ、サウンドプロデュースで参加した、いきものがかり「ハジマリノウタ」は日本レコード大賞最優秀アルバム賞を受賞。その後、歴史的ヒットを記録した「テルマエ・ロマエ」シリーズや「ドラゴンボール」シリーズフジテレビ9ドラマ「デート」等は記憶に新しい。

